

子どもの「言いまわちが」っていいなというお話です。先日のカレライスの日は朝から小雨。タープテントを出して調理していると次第に雨脚が強くなり、かなりの本降り。タープの屋根に雨粒が当たり、ザーっという音に興奮したかまど係の年長の子が『あやまどり! (あまやどり)』と大喜びしていました。私は横で聞きながら、フフンと楽しんでいました。

思い返せば私の長男が小さい頃は『さかさま』を『ささかま』、『おにぎり』を『おぎにり』と言っていたな、という記憶が。そして次男は絶賛「プリンバンバン」で、日常で急に「プリンバンバン」始まりです。歌詞の『鏡よ鏡』を『マダミロマダミロ』と意気揚々と歌っています。おべんとうの手遊びでは『おにぎりおにぎりちよいと詰めて』が『おにぎりおにぎりちよとちようだい』になります。『ドボロー(どろぼう)』も。なんだか直すのもつたなくて訂正せずにいます。そして、保育園も言いまわちがよく聞かれます。『カニにさされた(カにさされた)』『テベリ(テレビ)』『がじゃいも(じゃがいも)』『ひげせんせ(ひで先生)』などなど。

子どもたちは文字ではなく、音で言葉を覚えていきます。実際に聞いた言葉を口にして再現しているのです。なので、厳密に言えば言いまわちがえていいるのではなく、本当にそういう言葉だと思っているというこゝたになりますね。(ひげせんせも...?) 今しか聴くことができない、お子さんの愛おしい「言いまわちが」を家族での会話の中から探してみてくださいね。すぐに忘れちゃうのでメモがおすすです!

園長 梶原 秀一

今月の予定

七夕集合写真撮影

7/2 (火) 10:00~

七夕飾りや短冊が飾られた笹竹をバックにして、クラスごとに集合写真を撮りますよ。時間までの登園をよろしく願います。写真の販売は後日お知らせいたします。

保護者会・保育園 共催

夏祭り 7/6 (土)

夏祭り委員の皆様が色々計画してくださりました!お手伝いの皆様もありがとうございます!みんな楽しい夏の思い出にしましょうね。

七夕 笹焼き

7/8 (月)

この日はみんなの願いがこもった短冊や笹飾りを焼いて煙にして、天まで届けますよ。願いが届きますように!

リトミック

7/10 (水)

今月中も島先生にリトミックのご指導をいただきます。よく聴いてすぐに動く。生活でも大切なことが遊びの中から養われていきます。

交通安全教室

7/11 (木) 13:30~

教員の方々が、手作りした紙芝居や楽しい手遊び歌などで子どもたちを惹きつけてくださいます。今月は「信号の見方、渡り方」教えていただきますよ。



おべんとうデー

7/17 (水)

子どもたちの大好きなお弁当!ミートボールなどは喉に詰まらないような大きさに切ってから入れてくださいね。暑くなるので、保冷剤のご用意もよろしく願います。



カレーライスの日

7/19 (金)

今月もみんなで力を合わせて美味しいカレー・サラダ・フルーチェを作りますよ。3,4,5歳児のご家庭はエプロン・三角巾のご用意をお忘れなく!

誕生会

7/25 (木) 10:00~

7月生まれのお友だちの誕生会で!年長児はエスコートキッズとして、誕生児を席まで誘導してくれます。緊張しながら役割を果たしてくれています。

お知らせ・お願い

★服装について

最近、幅広のズボンやスカート付きのズボンを履くお子さんを見かけることがあります。遊具等に引っかかって思わぬ怪我につながる可能性があるため、入園のしおりにも記載の通り、動きやすい服装での登園をお願いいたします。オシャレな洋服はお休みの日に着ようねとお子さんとお話できると良いですね。

★土曜日保育の利用の仕方について

土曜日保育は、土曜勤務をされているご家庭のみが利用申請できます。兄姉の習い事や学校行事では利用できないことをご承知おきください。また、土曜勤務がある場合でも、週6日登園になるお子さんもおりますので、勤務終了後は速やかにお迎えをお願いします。

★年長児お泊り保育について

ぞうグループのお泊り保育を9月6日(金)~7日(土)の2日間で行います。内容につきましては計画を練っている段階ですので、8月に入ってから手紙を配布いたします。

★連絡王について

昨年度までは園から保護者の皆様への一斉連絡は「連絡王」を利用していました。今年度からはキッズビューを活用して皆様への連絡ができるようになったので、連絡王の利用をなくすことになりました。これまでメールアドレスの変更報告などにご協力いただきありがとうございました。引き続き、園からの連絡のご確認をお願いいたします。

★お盆中の希望保育について

お盆の期間8月13日(月)~15日(水)は希望保育とさせていただきます。詳細は後日手紙を配布します。予めご承知おきください。

☆保育士 加村 遥菜 が入籍いたしました。保護者会費からお祝いを頂戴しております。この場をお借りして保護者の皆様に御礼申し上げます。

☆ひかりぐみ担任 牧野 早耶佳 が一身上の都合により6月30日付を持ちまして退職となりました。保護者の皆様には沢山のご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

ザリガニつり

失敗から学ぶことの大切さ

六月の初めに、ザリガニつりに出掛けました。前日まで準備をします。まず、園の周囲にさおになるようなものを見つけていきます。そして、さおに紐を結び、紐の先にサキイカをつけます。細いタコ糸です。紐を結んだことのない子は悪戦苦闘します。簡単に結んでしまう子もいますが、手先の器用さが問われます。手先を使うことは脳の発達に関わります。イカもしつかり結びつけないと、すぐにはずれてしまいます。意気揚々と田ん浦に向かうと我先へと釣場に走り出します。勢い込んでいますので、ザリガニが食いつくとすぐに上げてしまうので、なかなか引つかからず、釣れません。そのうち、じつくりとよく噛ませ、挟ませ、待つようになります。忍耐力が育ちます。待てない子は釣れません。焦ります。焦るから、水の中に入るとはすぐに出すを繰り返しては、釣れません。釣れる子から「待つていないからだよ」と指摘され、悔しい思いをします。ザリガニの習性が分かると、隠れていそうなくとも予測したり考えるようになります。想像力、予測力も育ちます。短い木の棒では、ザリガニのところまで届きません。紐の長さは、短すぎても長すぎてもダメです。短

いと届きません。長すぎてもコントロールが難しく稲の葉に引っかかってしまいます。そうこうするうちに、お昼になって帰らねばなりません。釣れなかった子は「一匹も釣れなかった」とガツカリして、肩を落としています。それでも「今日釣れなくとも、どうしたら釣れるか、よく考えて、もう一度釣りにこよう。次は必ず釣ろう」と言うとき、顔を上げ、「もう一度来たい」と声を上げました。最近は何から何まで、お母さんがしてあげてしまつて、自分でもやろうとしない子、何もできない子がいます。子どもがすることに手出ししては、子どもは発達しなくなつてしまいます。まずは、自分でやることです。そして失敗することです。成功から学ぶことは難しいと思います。成功体験が足をひっぱることがあります。失敗は、なぜ失敗したか原因を考えます。そしてどうしたら上手くいくか、考えます。たかがザリガニ釣りだが、失敗したことを大切にしないで、同じ短い棒を学ばせたり、紐の結び方を学ばせたり、もう一度ザリガニ釣りに行つても、無駄なことでは、子ども達には何も残りません。せつかくの失敗を無意味にしてしまつてはもったいないと思います。体験と失敗を大切に、成功の喜びに共感することが重要です。

理事長 浅田 精利